

1. 科目名（単位 数）	公的扶助論 （2単位）	3. 科目番号	SBMP2106
2. 授業担当教員	森 長秀		
4. 授業形態	講義、グループ学習等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特に設けないが、講義時には最低限度の受講マナー（私語・飲食・携帯などの禁止）を守ること。本講義は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目（共通科目）であると同時に、生活保護制度を中心とする低所得者に対する制度施策という社会福祉の主要領域のひとつを学ぶ科目である。その意味で、社会保障や福祉法学などの関連科目と併せて知識をたくわえていく科目であると位置づけている。		
7. 講義概要	我が国の社会保障制度の一部であり、生活を支えるうえでの「セーフティネット」ともいわれる公的扶助に関する制度の基礎知識を体系的に学習する。具体的には、貧困や低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際などに着目しながら、公的扶助の考え方やその歴史について学習する。また、我が国の公的扶助として中心的な役割を持つ生活保護制度について、その原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務、相談援助活動や自立支援の取り組みを学ぶとともに、低所得層対策の考え方や具体的な制度について学習する。		
8. 学習目標	1 現代における貧困・低所得者の問題について理解し、説明することができる。 2 社会保障制度における公的扶助の役割について理解し、説明することができる。 3 公的扶助制度の歴史について理解し、説明することができる。 4 生活保護制度と低所得者支援の制度について理解し、説明することができる。 5 生活保護の動向と課題について理解し、説明することができる。 6 生活保護制度・低所得者支援における相談援助活動について理解し、説明することができる。 7 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の試験問題（低所得者支援と生活保護制度）について、解ける力を持つ。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	講義内容の理解度をはかることや次回講義への問題意識を高めることを目的として、リアクションペーパーの提出（遠隔の場合は送信による）を求めるほか、簡単な確認テスト（随時）をおこなう。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』 中央法規出版、2021年。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・生活保護制度、低所得者に対する制度の内容や、これらの制度をとりまく問題について理解できたか。 ・国家試験に対応できる知識を、身につけられたかどうか。 ○評定の方法 授業への参加度 30% 試験・レポート 70%		
12. 受講生への メッセージ	おおむね下記の内容に沿って講義形式でおこなうが、テーマによっては、受講者の意見を求めるなど、双方向的な講義を展開したい。担当者と一緒に講義を作るような積極的な意識を持った受講者を歓迎する。 また、国家試験において必ず高得点を取るという高い目標と意欲をもって受講してほしい。		
13. オフィスアワー	講義曜日の講義前後の休憩時間および昼休み		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	「はじめに」(科目の概要、国家試験「低所得者に対する支援と生活保護制度」の出題傾向) 「公的扶助の概念」	事前学習	教科書第1章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第2回	「貧困・低所得者問題と社会的排除」	事前学習	教科書第2章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第3回	「公的扶助制度の歴史」①（海外の歴史）	事前学習	教科書第3章第1節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第4回	「公的扶助制度の歴史」②（日本の歴史、貧困・低所得者対策の動向）	事前学習	教科書第3章第2.3節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第5回	「生活保護制度の仕組み」①（生存権と生活保護法の構成、生活保護法の目的と原理・原則）	事前学習	教科書第4章第1.2節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第6回	「生活保護制度の仕組み」②（生活保護の種類と内容・方法、生活扶助の内容）	事前学習	教科書第4章第3節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第7回	「生活保護制度の仕組み」③（生活保護の種類と内容・方法、教育扶助～生業扶助の内容）	事前学習	教科書第4章第3節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。

		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 8 回	「生活保護制度の仕組み」④（保護施設、被保護者の権利および義務、不正・不適正受給への対策）	事前学習	教科書第 4 章第 4～6 節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 9 回	「生活保護制度の仕組み」⑤（不服申立てと訴訟、朝日訴訟・堀木訴訟の内容）、生活保護の財源・予算	事前学習	教科書第 4 章第 7.8 節を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 0 回	「最低生活保障水準と生活保護基準」（最低生活保障水準・生活保護基準の考え方、保護基準額・保障水準の実際）	事前学習	教科書第 5 章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 1 回	「生活保護の動向」（被保護人員および被保護世帯数、保護の開始・廃止の動向、扶助種類別の動向）	事前学習	教科書第 6 章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 2 回	「低所得者対策の概要」（生活困窮者自立支援法、生活福祉資金貸付制度、社会手当、ホームレス対策など）	事前学習	教科書第 7 章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 3 回	「生活保護の運営実施体制と関係機関・団体」（国と地方公共団体の役割、福祉事務所と専門職の役割）	事前学習	教科書第 8 章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 4 回	「貧困・低所得者に対する相談援助活動」（相談援助活動のあり方と実際、他機関・多職種との連携・協働）	事前学習	教科書第 9 章を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
第 1 5 回	「生活保護における自立支援」（自立とは何か、自立支援プログラム） 「科目全体のまとめと復習、国試対策」	事前学習	教科書第 10 章および事前配布資料を通読し、問題意識や質問等をメモしておく。
		事後学習	本日学んだ部分（教科書、ノート、配布プリント）をよく読み、復習する。
期末試験			